

成 田 市 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令和7年3月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和7年3月19日 開会：午前10時00分 閉会：午前11時08分

会 場 成田市役所6階中会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	日 暮 美智子
委 員（教育長職務代理者）	高 山 勇
委 員	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	岡 本 秀 彦

出席職員

教育部長	小 川 雅 彦
教育部担当次長	藤 崎 清
教育総務課長	川名部 康 文
学校施設課長	大須賀 一 夫
学務課長	井 上 功太郎
学務課副参事	益 田 俊 郎
教育指導課長	三 村 洋 一
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
学校給食センター係長	郡 司 芳 己
公民館長	菅 井 良 江
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐（書記）	神 崎 裕 一

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 高山委員、岡本委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○3月5日、6日 校長人事評価面談について

1校10分ほどの面談で、各校長の説明時間は限られたものでしたが、自校の課題を明確にし、課題解決や克服のための方策を着実に実施し、学校経営の柱建てをしっかりと行っている様子が感じられました。

○3月8日 成田市生涯大学院卒業式について

第44期卒業生が卒業証書を受け取りました。3か年皆勤者7名を含む46名の皆さんが無事に卒業されました。呼名に対し、お一人お一人が心をこめて返事をされ、代表による卒業証書授与や代表のあいさつでは、落ち着いた中にもキビキビとした所作に、経験を積まれた風格を感じました。

厳粛な式の後には、共に学びあった皆さんと一緒に写真を撮ったり、談笑したりする姿が多くみられ、大変良い雰囲気運営されてきたことを感じました。

生涯学習課担当職員をはじめ、大学院におられる社会教育指導員や事務担当者のご尽力に感謝いたします。

○3月13日、18日 成田市立小中義務教育学校卒業式について

13日は大栄みらい学園卒業式、18日は遠山小学校卒業式に参列しました。

大栄みらい学園では、校長の登・降壇等の工夫、来賓祝辞等を少なくすることによって生徒が主役となる場面の時間を増やすよう工夫がされていました。卒業生答辞では、自分たちが6年生に進級した時に義務教育学校となり、戸惑いや不安の中で過ごした日々、そして、義務教育学校生としての誇りや自信に満ちていく様子も語られました。答辞の終盤には、卒業生全員によ

る「仰げば尊し」の清らかな歌声が盛り込まれ、さらに、在校生と卒業生の思いのこもった合唱と感動的な卒業式でした。

遠山小では児童11名が学び舎を巣立ちました。堂々たる入場、証書を授与された後の夢を語る場の設定、在校生から、卒業生各々の良さが大きな声で発表されるなど、一人一人を大切にした教育がなされていることを感じました。

○3月17日 令和6年度第2回成田市公民館運営審議会について

今年度2回目となる本審議会での議事は3件で、「令和6年度公民館主催事業の進捗状況及び令和7年度公民館主催事業について」「令和6年度公民館主要工事等の進捗状況及び令和7年度公民館主要工事等について」「第42回成田市公民館まつりの実績について」が取り上げられました。

委員からは、子育て事業が充実していることへのお礼とともに、一方で使っていない方への周知方法、日本語ボランティア養成講座を修了した方が生かされる場の設定、公民館まつりの時期の検討等について、質問や意見をいただきました。

あわせて、公民館の使用料について、コミュニティーセンター化に関するアンケート結果を報告し、意見をいただきました。

市議会

○2月21日～3月21日 令和7年3月定例会について

今議会に教育委員会からは、一般会計補正予算「学校給食センター建設事業」等における経費の減額を提案しました。また、代表質問を含む一般質問では8名の議員から質問を受けました。これらは、ケーブルテレビでも放映していましたのでここではその詳細については触れませんが、部活動の地域移行、給食費の無料化、外国人児童生徒への日本語指導、学校遊具、スクールバス、学校適正配置、公民館の在り方等の質問に対し、答弁しました。

○3月6日 教育民生常任委員会

所管事務調査として「成田市教育振興基本計画の概要及び策定に係るアンケート調査の結果について」、「就学援助費に係る認定基準の見直しについて」「部活動地域移行モデル事業の実施について」の3件を説明させていただきました。

○3月11日～3月14日 予算特別委員会

教育費予算については、12日の午後から審議が開始されました。主な事業として部活動地域移行モデル事業、小中学校就学援助費支給事業等を説明した後、委員の方々から質問等を受けました。教育振興基本計画、部活動地域移行モデル事業、英語科研究推進事業、成田小学校改築事業、学校管理費（草刈委託料）、公民館使用料等について意見や質問をいただきました。

その他

○3月7日 成田市学校栄養士研修会について

学期に1度実施している栄養士研修会です。栄養士さんたちが、給食を提供している学校とよく連携されているということを感じました。食育に係る授業への参画、給食配膳時の巡回、学校保健委員会への参画など、具体的な話をいただきました。

今回も各調理場の状況を伺うと、施設の老朽化に伴う問題がいくつも指摘され、現場の困り感を共有したところです。また、各調理場において、調理員の数が一定数そろわない日があるという課題も挙げられていました。

○3月9日 国際医療福祉大学令和6年度学位記授与式について

式進行の中で、今年度初めて2年制の介護福祉特別専攻科から卒業生を輩出すること、4月から開設される成田老年医療福祉センターで勤務されることも紹介されました。この日の模様は本大学の教授で医学科長を務められている岡本委員から直接お話を伺った方がよろしいかと思いますので、私からは簡単にご報告いたします。式が行われたのは国際医療福祉大学成田病院の4階にある成田国際ホールでした。今年度は、医学部、成田看護学部、成田保健医療学部の各学部、学科530名、介護福祉特別専攻科・臨床工学特別専攻科30名、大学院生46名に学位記が授与されました。留学生代表で謝辞をのべたベトナム出身のホアンさんが、大学が招いてくださったことの感謝の意を心から述べている様子、「患者さんに寄り添うことの大切さ」を学んだと述べていたことに心が動かされました。

○3月10日 叙勲伝達について

高木正先生に、叙勲の伝達に行ってまいりました。高木先生は香取郡大栄町立津富浦小学校を初任に、香取郡及び習志野市の小学校勤務を経て、千葉県立美術館ご勤務、佐原市立新島小学校他2校の教頭に、そして平成5年4月大栄町立川上小学校の校長に昇任され、平成8年3月に大栄町立津富浦小学校校長の職をもってご退職されました。

現在は、香取退職校長会理事等をおつとめになる傍ら、趣味にいそしみ穏やかな生活を送ら

れているようです。居間にこれまでの業績をうかがわせる表彰状が整然と飾られており、高木先生の実直さを感じた次第です。

○3月14日 成田市ふれあいる一む21修了の会について

ふれあいる一む21在籍者27名中17名が参加して修了の会が行われました。保護者、在籍学校の担任や校長先生方も参加されていたため、部屋の広さの関係から誠に失礼とは存じましたが、昨年度に引き続き教育委員の皆様には出席をご遠慮願いました。

この日は、指導員の皆さんが心を込めて作成してくださった修了証書を一人一人に渡した後、6名の代表生徒から修了の思いを語ってもらう場面がありました。支えてくれた家族、自分たちの面倒を見てくれた指導員の皆さんや、担当指導主事に対して、感謝の言葉を切々と述べ、指導員さん方も涙を浮かべておりました。子どもたちの思いが伝わってきて、心を打たれました。

○3月14日 千葉県立栄特別支援学校卒業式について

16名の卒業生一人一人に、校長先生より卒業証書が手渡されました。栄特別支援学校は平成29年に開校し8年目となりますが、開校当初策定されたであろう校歌を卒業生・在校生が気持ちよく歌っている様子が印象的でした。素敵な歌詞、メロディーの校歌と思いました。

卒業式では、あたたかさを感じる場面を随所に見かけました。校長先生の式辞は、一語一句ステージのスクリーンに映し出され、ルビも振ってありました。式次第の項目も、校歌や別れの歌の歌詞も映し出され、私自身が状況を良く理解できました。

偶然にも、私の教員生活最後の年に中学校1年生だった生徒が、代表で別れの言葉を述べ、感慨深いものがありました。また、別れの歌では、手話で歌う生徒の姿もみられ、一人一人が大切にされ、自分の良さを見出していることを感じた次第です。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：私からは卒業式に参加した感想を述べさせていただきます。13日に西中学校、18日に公津小学校の卒業式に出席させていただきました。西中では、来賓席が壇上あり、卒業証書を受け取る子どもたちの表情を見ることができました。4クラスの卒業式ということで、ちょうど良い規模感かなと感じました。特に演出に凝るわけではなく、淡々としっかりとした卒業式が行われていたことや、卒業生の答辞では、自分が中学校

で学んだことを語る姿が見ることができ、出席してよかったなと思いました。その後、西中学校の校長先生にお会いする機会があり、卒業式の話をお聞きしたところ、卒業式を4回行ったことを伺いました。1回目は学校の体育館で、2回目は卒業式に出られなかった子のために午後から1回、また、どうしても学校に来られない子のためにふれあいる一むで1回、そして、そこにも行けない子のために自宅に出向いて卒業証書を渡したということで、計4回卒業式を行ったとのことでした。私は「一人も取り残さない教育」というのは、こういった一人ひとりを見つめた地道な実践にあるのではないかと思います。

公津小学校の卒業式では、26名が卒業ということで、これもちょうど良いのかなと感じました。内容もしっかりしたものでしたが、気になったことは将来の夢を語る場面で、教師になりたいという子どもが一人もいませんでした。小学校で先生になりたいというお子さんはいないのかもしれませんが、今、マスコミとかで教員は大変だ大変だと、あまりにも謳い過ぎていて、子どもたちに先生は大変だと思込ませてしまっているのではないかと懸念しています。

高木先生への叙勲伝達についてであります。高木先生は、子どものことを考えてくださるとても良い先生であったと記憶しています。今回、受章されたということで、これからお元気でお過ごしいただきたいと思いました。

片岡委員：私も卒業式の感想からお話いたします。13日に久住中に出席してまいりました。校長先生の式辞では、感極まる様子を拝見し、これまでの想いが湧き出ているものでした。また、前日に卒業生と関わったブルーライトを用いた内容もあり、とても良い式でした。また、「仰げば尊し」の合唱は逆に新鮮でした。最近の卒業式では知らない歌ばかりでしたので、やっぱりしみじみと噛みしめるいい歌だなと感じました。

14日は八生小に出席してまいりました。小規模の学校ということで、地域の方々に支えられて巣立っていくんだなと感じる式でした。1年生から全校が参加し、みんなで歌を歌って送り出している様子がとても印象的でした。

また、九か年精勤賞の伝達をさせていただいたのですが、学校により様々な対応と

と思いますが、近くにいた先生から授与していただいてもよいのかなと思いました。

次に、公民館のコミュニティーセンター化や有料化についてのお話ですが、有料化により公民館サークルが減ってしまったり、地域の教育活動の場として無料で使える施設が減ってしまうことを心配しています。

次に、オーガニック給食についての映画会が4月20日に開催されます。もりんぴあこうづで上映されますので、皆さんにも見ていただけたらと思います。

日暮教育長：公民館の使用料につきましては、今後、方向性がまとまり、委員皆様にお話しするタイミングになりましたら、改めて提案させていただきますので、よろしくお願いいたします。

岡本委員：私は、中台中学校の卒業式に参加してまいりました。歌も大変素晴らしく、言うことなしでした。気になったのは、あれだけのクオリティの式典を行うとなると、かなりの練習時間があつたのではないかと思います。完璧を求め過ぎで負担になっていないかなと私個人として心配になりました。

また、佐藤委員からもありましたが、昔は、なりたい職業で教師はけっこう上の方にあつたと記憶しています。小学生にとって、身近に触れる職業というのは、教師が一番多いことから、なりたいと思う職業で上位にあつたのではと思います。最近の子どもたちは様々な情報が多く得られるため、負の部分だけが大きく扱われていると感じます。ぜひ、教師はいい職業であるということを伝えていって欲しいなと思います。

国際医療福祉大学でも卒業式を行いました。成田市からの支援をいただき、ここまで来れたことに感謝申し上げます。本学の学生は、ボランティアとして成田市に貢献したいと感じています。小学生や中学生向けの救命法の講座を行うなど、学生と子どもたち、地域がつながる仕組みづくりができればと考えています。

高山委員：私も三里塚小の卒業式に参加してまいりました。三里塚小も2クラスということで、

少子化の影響を感じたところです。卒業生も中学校の制服のほか、様々な服装で参加しておりました。卒業生や在校生の5年生もしっかりした態度で素晴らしかったです。

卒業生も大泣きをしている子もあり、先生方の素晴らしい教育の結果が現れている感動的な卒業式でした。

また、大栄幼稚園の卒園式に参加させていただきました。こちらも2クラスということで、子どもが減っていることを感じました。卒園児のみの式典でしたが、園長先生から卒園証書もらって、保護者席でうちの人に渡す光景には、感動しました。短い時間でしたが、とてもよい式でした。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第4号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号「令和6年度成田市一般会計補正予算（教育費関係予算）について」

議案第2号「令和7年度成田市一般会計補正予算（教育費関係予算）について」

福島学校給食センター所長：今回の補正は、愛光園跡地に再整備を進めている、学校給食センター一本所について、令和7年度当初予算に計上している「学校給食施設整備事業」を、国の補正予算が決定されたことに伴い、令和6年度に、前倒しするために、必要となる経費を計上するものです。

恐れ入りますが、議案第1号の資料の3ページをご覧ください。

上段の表をご覧ください。

令和6年度の学校給食施設整備事業における歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ24億1,674万7千円を増額し、29億

8,674万4千円としようとするものでございます。

事業内容を、ご覧ください。

歳入ですが、国庫支出金では、「学校施設環境改善交付金」、1億6,103万2千円を、繰入金では、「財政調整基金繰入金」21万5千円を、市債では、「学校給食施設整備事業債」22億5,550万円を、それぞれ増額しようとするものです。

歳出ですが、委託料では、建設工事監理委託料1,092万円を、工事請負費では、建設工事18億3,242万4千円を、備品購入費では、厨房機器等購入5億7,340万3千円を、それぞれ増額しようとするものです。

なお、資料の1ページには、今ご説明した歳入を、2ページには、歳出を、それぞれ記載してございます。

3ページの資料下段、継続費の欄をご覧ください。

事業費の総額、31億7千395万3千円は変わらず、補正前から補正後のとおり、令和7年度から6年度に24億1,674万7千円を前倒ししようとするものでございます。

令和8年度の変更はございません。

続きまして、議案第2号の資料の6ページをご覧ください。

上段の表をご覧ください。

令和7年度成田市一般会計の学校給食施設整備事業における歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ24億1,674万7千円を減額し、3,340万5千円としようとするものでございます。

事業内容を、ご覧ください。

歳入ですが、国庫支出金では、「学校施設環境改善交付金」、1億6,363万3千円を、繰入金では、「財政調整基金繰入金」、5億1,901万4千円を、市債では、「学校給食施設整備事業債」、17億3,410万円を、それぞれ減額しようとするものでございます。

歳出ですが、委託料では、建設工事監理委託料1,092万円を、工事請負費では、建設工事18億3,242万4千円を、備品購入費では、厨房機器等購入5億7,340万3千円を、それぞれ減額しようとするものでございます。

なお、資料の4ページには、今ご説明した歳入を、5ページには、歳出を、それぞれ記載してございます。

《議案第1号・議案第2号に対する質疑》

岡本委員：予算を前倒しということですが、理由はこういったことでしょうか。

福島学校給食センター所長：今回の補正は、国の令和6年度補正予算により、教育分野の施設整備補助金が追加で予算措置されたことに伴うもので、国は地方自治体に対し、この国庫補助を活用して、令和7年度に予定されている施設整備事業を令和6年度に前倒しして予算措置することを促しております。前倒しによるメリットとしまして、国の予算の都合により国庫補助の採択が保留されてしまうリスクを減らすことができること、前倒しに伴う起債については充当率が100パーセントとなり、一般財源の投入額を軽減できることなどが挙げられます。

日暮教育長：その他、何かございますか。

特にないようですので、はじめに、議案第1号「令和6年度成田市一般会計補正予算（教育費関係予算）について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

日暮教育長：続きまして、議案第2号「令和7年度成田市一般会計補正予算（教育費関係予算）」

について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第3号「学校医の委嘱について」

議案第4号「成田市健康管理医の委嘱について」

三村教育指導課長：この度、成田整形外科の松崎時夫先生から玉造中学校の学校医を、なのはなクリニックの村上義彦先生から久住小学校及び大栄みらい学園の学校医を、解嘱希望の申し出がありました。任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日まででありましたが、解嘱により令和7年4月1日から欠員が生じます。成田市医師団からの案を基に、後任は、玉造中学校の学校医を新規で成田整形外科院長の府川泰輔先生に、久住小学校及び大栄みらい学園の学校医を、新規でなのはなクリニック院長の森徳郎先生にお願いしたいと考えております。

また、村上先生につきましては、大栄みらい学園の健康管理医も委嘱しておりましたので、成田市立学校職員安全衛生管理規程第7条第2項により校長の推薦を受け、こちらも新規の森徳郎先生にお願いしたいと考えております。2名の任期は前任者の在任期間となりますので、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間となります。

《議案第3号・議案第4号に対する質疑》

岡本委員：退任の理由はわかりますか。

三村教育指導課長：院長の交代等によるものでございます。

日暮教育長：その他、何かございますか。

特にないようですので、はじめに、議案第3号「学校医の委嘱について」を採決

いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

日暮教育長：続きまして、議案第4号「成田市健康管理医の委嘱について」を採決いたします。

本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

《非公開を解く》

議案第5号「成田市学校職員のハラスメントの防止等に関する要綱の一部改正について」

井上学務課長：令和元年に改正された「労働施策総合推進法」において、職場におけるハラスメント防止対策が強化され、雇用管理上必要な措置が義務化されました。

本市では、全ての職員が個人としての尊厳を尊重され、男女ともに快適に働くことができる職場環境を確保するため、ハラスメントの防止及び排除のための措置並びにハラスメントに起因する問題が生じた場合に適切に対応するための措置として「成田市学校職員のハラスメントの防止等に関する要綱」が令和3年4月1日に定められています。その後、毎年4月に開催される成田市施策説明会や校長会議において、周知しているところです。

本案は、相談関係者が学校管理職（校長等）に及ぶ場合を想定し、教育委員会の関わりを明確にするため「成田市学校職員のハラスメントの防止等に関する要綱」の一部を改正しようとするものです。

主な改正内容といたしましては、教育委員会のハラスメント相談窓口を明確化したこと、「相談なう」がこれにあたります。また、相談員に学務課管理職等を追記したこと、相談関係者が学校管理職（校長等）に及ぶ場合、ハラスメント防止委員会の教育委員会内の設置を明確化したことであります。

最後に、本要綱の改正日は、令和7年4月1日としております。

《議案第5号に対する質疑》

片岡委員：今回、明確化されたということは、このような事例があったのでしょうか。

井上学務課長：事例があったというよりは、これまでの規程では、校長をトップとして解決する流れで作り込みがされておりましたが、校長がハラスメントの対象者であった場合には、対応しきれない規程でありましたので、今回、教育委員会が関与できるように明確化したものです。

佐藤委員：セクハラの場合は、はっきりわかりますが、指導とパワハラとの境目は難しく、どこまでが指導で、どこからがパワハラなのか分かりづらいと思いますので、今回はっきりできたことはよいことと思います。

片岡委員：校長先生が先生方に声掛けが難しくなってしまうことはありませんか。

井上学務課長：難しくなることはないと考えます。今後は、教育委員会も関わることで、教職員が安心して働くことができるようになると考えます。

岡本委員：改正には賛成です。理不尽な訴えには、パワハラではなく指導であることをはっきりさせる意味で良いと思います。1点、文中で、指名する職員が女性とありますが、関係者が全員女性も想定されるので、女性に限定せず、相談者と同じ性別の方を入れるなどしてはどうかと思います。

井上学務課長：新たな視点を頂きましたので、反映させていただきたいと存じます。

日暮教育長：その他、何かございますか。

特になさいますので、議案第5号「成田市学校職員のハラスメントの防止等に関する要綱の一部改正について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

(2) 報告事項

報告第1号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

報告第1号「成田市立小中義務教育学校県費負担教職員の人事異動について」

《非公開を解く》

6. その他

特になし

7. 教育長閉会宣言